

会 議 録				
平成25年度第8回 社会教育委員の会議	日 時	平成26年2月14日(金) 午前9時30分～11時00分	場 所	小金井市役所西庁舎 2階・第五会議室
事務局	小金井市教育委員会生涯学習課			
出 席 者	委 員	中村議長、原嶋副議長 宗像、樋口、石田、樹、本多 各委員		
	その他 事務局	西田生涯学習部長 天野生涯学習課長、大関公民館長、上石図書館長補佐		
傍聴の可否	◎可・一部不可・不可	傍聴者数	0人	
傍聴不可・一部不可の場合の理由				
次 第				
1 協議事項				
(1) 平成26年度の会議日程について				
(2) 第2次小金井市生涯学習推進計画の評価及び第3次小金井市生涯学習推進計画の策定について				
(3) その他				
2 報告事項				
(1) 平成25年度第5回社会教育委員の会議小委員会の開催結果について				
(2) 平成25年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第3回役員会・拡大役員会及び第4回役員会の会議要点録について				
(3) 第26回多摩郷土誌フェアの開催結果について				
(4) 第10回野川駅伝の開催結果について				
(5) 貫井北センターの愛称の選考結果について				
(6) その他				
会 議 結 果				
<p>(天野生涯学習課長) 定刻となったので、始めさせていただきます。本年度最後の本会議となる。よろしくお願ひする。</p> <p>(中村議長) 皆さん、おはよう。今日はお足元の悪い中、お集まりいただきありがとうございます。それでは、今日の次第ということで、こちらの協議事項と報告事項だが、通常、協議事項を先に済ませた上で報告事項のほうに入っているが、今日は協議事項の理解を助けるために、報告事項のうち、「第5回社会教育委員の会議小委員会の開催結果について」を原嶋副議長から先にご報告いただき、その後、協議事項に入っていくほうがよいと思っている。</p> <p>それでは、まず最初に配付資料の確認を事務局からお願ひする。</p> <p>(天野生涯学習課長) それでは、配付資料の確認をさせていただきます。まず1点目、平</p>				

成26年度会議日程(案)、2点目、協議事項(2)の資料として、現行計画の評価及び次期計画策定の方向性について(案)ということで、こちらが小委員会でまとめた方向性の案である。次がそれを表にしたもので、第3次小金井市生涯学習推進計画策定に係るスケジュール(案)である。次からが報告事項の資料になる。報告事項の1点目、平成25年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第3回役員会・拡大役員会会議要点録である。次が同じく第4回役員会の会議要点録である。その次が第26回多摩郷土誌フェアの開催結果である。その次が第10回野川駅伝の開催結果である。最後に、貫井北センターの愛称の選考結果についてである。配付資料は以上である。

(報告事項(1)を先行して報告)

(中村議長) それでは、先ほどお伝えしたように、協議事項に入る前に原嶋副議長から先般あった小委員会の開催結果報告ということでお願いしたいと思う。

(原嶋副議長) 口頭で報告させてもらう。

1月7日、9時半から、小委員会のメンバー5人が出席した。私の報告の中で足りないことは、申しわけないが補足ということでお願いしたいと思う。あと、事務局として天野課長が出席した。

主な議題は、小金井市第3次生涯学習計画の策定スケジュール、平成26年度小委員会の日程について、小金井市第2次生涯学習計画施策の展開、これが第2番目で、3番目がその他ということで、事務局から本会議の日程変更についての話があった。

順番を変えて、まず2番目から報告すると、第2次生涯学習計画施策の展開については、平成27年度、28年度と延伸してやっていくが、見直しが必要なものについては変更したということで、変更点について全庁的に再度確認調査を行い、その結果を事務局で集約していただいた。確認の結果訂正した点について、事務局から説明がされた。

次に、3番の日程の変更については、後ほど事務局より説明があると思うが、三者合同会議を11月14日に変更するよう調整しているとのことであった。

今日の協議事項にもあるが、一番目に議論したのは、第3次生涯学習計画を策定するに当たってどうしたらいいのかというのである。第3次生涯学習推進計画の策定は、市の総合計画とリンクしていかなきゃいけないということがある。総合計画の骨子案ができ次第、こちらも着手しなくてはいけない。ある意味、並行してやっていかなくちゃいけないのかなということであった。第2次計画の評価については、評価の観点として、この計画は「市民、団体、行政が協働して推進していくための指針」として策定されているのだから、まずは市民や団体の意見を聞きながらやっていこうということで議論した。方法論としては、市民へのアンケートとか、ホームページや市報掲載等々、いろいろと話し合ったが、あっとランダムに市民にアンケートをとってみても、回収率やサンプル数が不安材料になるのではとの意見があった。社会教育委員には、文科系、スポーツ系、学校教育の方がいらっしゃるの、それぞれの委員が関係する団体に意見を聞いたかどうかということが、方向性としてまとまった。公民館運

営審議会や図書館協議会にもアンケートをしようということになった。小委員会は方向性について話し合う機関で、本会議が議決機関であるので、今後皆さんで決めていくことになると思っている。

スケジュールとしては、事務局から、来年の初めを目処に総括的評価をしたいということであったが、一方で、計画策定についてはパブコメ等もあり、こちらも急がなくてはいけない。ある意味、並行してやらなくちゃいけないのかなと個人的には思っている。

なお、次回の小委員会は、4月25日に本会議があるため、14日の週に開催する方向で調整することとした。以上である。

(中村議長) つけ加えることがあったら願います。

(天野生涯学習課長) では、補足させていただく。今、最初にお話のあった施策の展開については、今回はまだお配りしていないが、前回お配りした資料について全庁的に調査をかけたところ実績等で間違っていたところがあったため、それらを直したものを確認という形で小委員会のほうに提出して報告した。今後の流れとして、2月18日に行われる生涯学習推進検討委員会で最終的に決定し、その後、見直し版という形で教育委員会へ報告し、3月7日に行われる市議会の厚生文教委員会で行政報告をする形になっている。そこで最終的にかたまるので、その後、皆さんのほうには修正した後の最終版ということで、メールか何かで資料を配付しようかと思っている。よろしく願います。

(中村議長) ありがとう。それでは、協議事項に入る。

## 1 協議事項

### (1) 平成26年度の会議日程について

(中村議長) 議題1、平成26年度の会議日程ということで、小委員会でも先般話があったが、事務局のほうから会議日程についてご説明いただく。

(天野生涯学習課長) 本日配付した平成26年度会議日程(案)をごらんいただきたい。第1回から第8回まで場所はすべておさえてある。以前もお話ししたが、5月16日が第2回となっているが、その日の午後、三者合同会議があるので、午前には社会教育委員の会議をやり、午後懇談会とするのも可能ではあるが、日が重なっているため5月はこの日に会議をせず、通常毎年7月に視察を行っているところを5月を視察に充て、7月はこの日程で会議をするのもいいかと考えている。

もう1点、第6回の日程だが、前回の会議の中で石田委員から甲信越静の研修と重なっているというご指摘をいただいたため、その後、調整をし、11月14日の予定となっている。時間はまだはっきりは決まっていないが、午後ということで場所はおさえたと聞いている。

仮に先ほど私から提案したとおり5月に視察を行うとなると、今日ある程度のことを決めて、来年度第1回の4月の会議で決定しないと間に合わないため、視察の場所、

日程等について、本日ご協議いただければと思う。以上である。

(中村議長) ありがとう。それでは、会議日程案が配付されたが、これについて各委員からご意見等はあるか。先ほど事務局からお話があったが、11月14日は社連協の開催日程とずらしていただいているということか。

(天野生涯学習課長) そうである。もともと21日だったが、重なっているため14日にずらしている。

(中村議長) まず日程的なものがこれでよろしいかどうかということで、ご異議がなければこれで進めたいと思う。一応これで会議室は確保していただいているということか。

(天野生涯学習課長) はい。

(中村議長) ということだが、いかがか。もしご異議がなければ、これで承認いただいたということよろしいか。

(「異議なし」の声あり)

(中村議長) では、この会議日程で確定ということで進めさせていただく。

ただ、これと関連して、先ほど事務局からお話があったが、視察の時期をいつにするかということがある。視察を例年は大体夏場ということで7月に実施しておるが、事務局からは5月という提案もあった。そのあたりはいかがか。

(天野生涯学習課長) あるいは、考え方としては、どうせ1日予定を入れてしまうのだから、この予定どおり午前に社会教育委員の会議をやって午後は懇談会というのも、そのほうが都合がいいということであれば構わない。7月25日の場所をキャンセルして視察にするということも可能である。

(中村議長) 今の件で各委員の皆さんからご意見があるか。視察をどうするかということで、時期的なものについてご意見はないか。

(石田委員) 今なら対応できるため、どうにでも。

(中村議長) 樹委員はないか。

(樹委員) どこに行くかというところも一つ問題かと思うが、それによってある程度決まってくるかと。

(中村議長) どこへ行くかということで、これは私案ではあるが、貫井北センターが4月1日にオープン予定のためそこにするか、あるいは、清里山荘については指定管理者が来年度から交代するということもあるため、その運営が順調になされているかどうかを見る意味合いも含めて清里山荘へ行くのはどうかと思っている。これは私案であるので、もちろんこれにかかわらずもっとここがいいという各委員からお薦めの場所等があったら活発なご発言をいただきたい。いかがか。

(大関公民館長) 今、貫井北センターという話が出たが、4月1日オープン予定であり、社会教育委員にも来賓として出席していただき、式典をさせていただく予定である。式典が終わった後、自由に内覧していただければと思っているので、そうなるダブってしまうため、一応お話ししておく。

(中村議長) 今、大関公民館長からお話があったとおり、来賓としてお招きいただけるとのことなので、北町センターについては視察という形で見るとダブるため、方向性としては指定管理者が変わる清里山荘かなという感じがする。候補地としては清里山荘の方向でよろしいか。ご異議がある方はいらっしゃるか。

(原嶋副議長) 指定管理者が変わるといっただけの視点なのか。目的を考えた方がいい。施設設備を見るのか、指定管理者のアクションの仕方やパフォーマンスを伺うのか、後者であれば、あそこまで行って情報を得る必要があるのか。指定管理者にこちらへ来ていただいてここでやってもらうこともできる。たしか去年か一昨年に行っていないか。

(中村議長) 去年行っている。

(原嶋副議長) 同じところに行っている。

(中村議長) 新任の委員さんはまだごらんになったことがない方がいらっしゃるかもしれない。約半数、新たな方がいらっしゃるため見ていただいてもいいのかなと思っている。別に清里山荘にはこだわらず、いいところがあれば出していただければ。原嶋副議長、どこかあるか。

(原嶋副議長) 個人的には施設設備ではなく学習にいくというのはどうなのかと思う。後でいろいろ問題が出てくる評価の問題、この2年間の中で短い間に評価をしていく。評価をされている先進的な自治体に学びにいくのはどうか。先人に学ぶではないが、どうやったらいいか、どうやってきたのか、例えば調布市とか武蔵野市あたりがやっているようなので、例えば僕たちがそういうところに学ぶ、施設設備ではなく、そういうことではいけないのか。

(西田生涯学習部長) それは決めていただいて構わない。

(原嶋副議長) こだわっていないのか。

(西田生涯学習部長) 実際に両方見に行った事例もある。町田市のセンターを見に行ったときには、設備も見るとし、運営みたいなものもどうやっているかも一緒に見たことはあった。ただ、行政のほうに見にいくとなると、時期的なものは今日こちらだけでは決められない。相手方の都合もあるし、人数的にも受け入れていただけるかということがある。時期的なものはある程度ご一任いただいた中で、事務局のほうで探るといっただけでいいのかなと思う。この会議で5月に行こうといっても向こうがそれでいいのかどうかというのがある。

(中村議長) 今のお話と関連して、候補地の一つとして武蔵野プレイスという線もなはないかなと。行っておられる方がたくさんいらっしゃったらまた外すが、武蔵野プレイスというのも1つの選択肢だと思っている。本多委員、ご意見はないか。

(本多委員) 私たちが最初に行ったときは、清里山荘研修しながら山荘近くの施設見学をした。行きか帰りに他の施設見学というのもどうか。バスの中での交流も有意義である。議長の清里山荘という案もわかる気がする。

(中村議長) 樋口委員は。

(樋口委員) ここへ来て清里山荘は訪ねてみたいと思っていた。個人的な意見であるが、行ってみたいなどは思っている。

(中村議長) 石田委員は。

(石田議長) 清里山荘は行ったことがあるためわかっているが、他にどんなところがあるか、見学したい施設そのものがまだよくわかっていない。今おっしゃった武蔵野プレイスについても、私はどこにあるどんな施設なのかわからない。

(中村議長) 武蔵野プレイスは社会教育施設で、場所は武蔵境の駅前、北口にある。特に今注目を浴びているのは、図書館部門である。インターネット上でもかなり検索が多いということである。図書館を目指して来られる来館者がかなり多い。樹委員、いかがか。

(樹委員) 指定管理者の変更は4月1日か。

(天野生涯学習課長) そうである。

(樹委員) そうすると5月ではちょっと早いかと思う。5月に清里へ行くのだと、ちょっとまだ落ち着いてないところがあるのかなとも思う。私たちは2回行かせていただき、今の指定管理者がどういうお心でやってこられたか伺っているので、また新しい方がどういうふうにか小金井の市民を受け入れてくれるか、また、子どもたちが行く場所でもあるので、子どもたちをどう受け入れてくださるか、はちょっと興味もあるし、料理とか施設の管理状態もやはりやっている方によって違うのかなとも思うと興味はあるが、ちょっと5月の段階ではまだそこまでは見えない気がする。清里山荘に行くのであればやはり時期を考えたほうがいいのかと思う。ほかの施設であれば、武蔵野プレイスも私は何回も外からは見ているが、近い近いと思いながら、やはりなかなか踏み込めない場所であり、W i F i 等も使えて学生さんとかにとってはすばらしい施設だということで、駅前でもあるため、小金井とかよそから行って使っているという声も聞くため、興味のあるところではある。

(中村議長) 原嶋副議長どうですか、視察場所。

(原嶋副議長) 個人的に清里は学校教育の中でしょっちゅう行っているからやや抵抗があるだけで、皆さんの意向に合わせる。

(中村議長) いろいろご意見をいただいたが、もし清里山荘に行くということであれば7月ごろかなと。あと、例えば武蔵野プレイス、これは純然たる社会教育施設であるが、そのあたりはいかがか。武蔵野プレイスに行かれた方はいらっしゃるか。皆さん行かれていない。

(樹委員) 今日は来られていないが、倉持先生のご意見もちょっと伺ってみたい気がする。倉持先生はたくさんいろいろな施設を見ておられる。今まで私たちが回ってきている杉並区とか三鷹市とか町田市とかの施設も、私たちがどういうところに行ったというのを倉持先生は御存じなので、次にこんなところがあるという案があればぜひ伺いたい気がする。

(中村議長) では、今日のところは場所も日程も決めず、一旦ちょっと倉持委員のご

意見をお聞きしてということによろしいか。

(天野生涯学習課長) 視察については次回で構わないが、場所をとる関係があるため、5月16日をどうするか。三者懇談会と同じ日になってしまうがこのまま行くのか、日程を変えるのか。変えるのであれば別の日に会議室をおさえなければいけない。

(中村議長) では、視察は7月の線にしてよろしいか。5月はちょっと早過ぎるし、7月に視察を固定したほうがよろしいかと私は思うが。ご異議はないか。

(「異議なし」の声あり)

(中村議長) では7月視察ということでご異議がないため決定させていただき、5月16日の午前は定例の会議にさせていただく。

(天野生涯学習課長) 同じ日に、午前と午後の両方会議になってしまうが、それでも差し支えないか。

(中村議長) 5月16日の午前が本会議になると、その日また午後から三者合同会議になるが、それでよろしいか。あるいは、それがちょっと都合の悪い方が多いようなら5月の他の日に午前だけ会議をするということになるが、その辺はいかがか。樹委員、いかがか。

(樹委員) 体力、気力の部分では若干問題はあるかと思う。

(石田委員) ただ、できなくはない。今日も午後に図書館があるから、私は二つ掛け持つ。

(本多委員) この16日という日は都合が良い方が多かった。皆さんの希望日だと思う。5月16日で午前と午後ではどうか。

(西田生涯学習部長) ちょっとどこかで一緒にご飯を食べて、また集まっていただくというのもいいかもしれない。

(本多委員) そう。またコミュニケーションがとれるいいチャンスだ。

(西田生涯学習部長) 多分、三者懇談会は午後1時半ぐらいからで、この会議が大体12時直前ぐらいまでやっているのだから、そのままお昼を皆さんで食べてまたやって来てというのも考えられる。

(中村議長) よろしいか。大丈夫か。では、その方向で、5月16日に2つということによろしいか。ちょっと大変だが、その日は社会教育のために捧げていただくということによろしく願います。では、日程が決まり、5月16日午前に本会議、それから午後から三者懇談会ということで決定させていただく。ありがとう。

## (2) 第2次小金井市生涯学習推進計画の評価及び第3次小金井市生涯学習推進計画の策定について

(中村議長) 続いて、ちょっと重い協議事項になるが、2の第2次小金井市生涯学習推進計画の評価及び第3次小金井市生涯学習推進計画の策定について、事務局からご説明をいただく。

(天野生涯学習課長) 先ほど副議長からも報告があったが、改めて小委員会で話した

ことを私なりにまとめたものがこの資料、現行計画の評価及び時期計画策定の方向性について（案）である。

現行計画の評価の仕方だが、先ほど副議長からのご報告にあったとおり、アンケート等いろいろ考えたが、まず1点目として、図書館協議会、公民館運営審議会という三者のうちの二者、それから、こちらから出向していることもあり、放課後子どもプラン運営委員会に意見を聞く。もう1点は、各委員が所属している団体にも意見を聞いてきてもらい、それを持ち寄って協議する。質問内容については今後検討するということである。その2点を市民の声として取り入れる。図書館協議会にしても公民館運営審議会にしても公募市民の方がいらっしゃるし、それと所属団体は市民の方で構成されているので、それをもって市民の声と見なすことができるのではないかというのが小委員会での協議結果である。それを集約して、あと行政のほうでも行政評価や、教育委員会での点検評価を行っているため、そういったものも参考にしながら総括的に評価すればいいのではないかという話になった。各団体に聞く内容としては、現行計画である基本目標が4つ掲げられているので、そちらについてどうかということで、具体的にどんな聞き方をするかは今後協議していくということである。

現行の計画の評価をしている中で、ここが足りないから次の計画でこうしようというような、同時に次の計画の方向性も出てくるのではないかということで、現行計画の評価と次期計画の方向性とを同時に協議していくことを考えている。

次に、現行計画の評価の示し方だが、評価そのものを文書化するのかもしれないのが議論になったが、現行計画の中で最終年度にこの計画の評価をすることをうたっていることもあるため、全くしないわけにはいかないだろうと思っている。ただ、評価のみ個別で文書化するのではなく、次期計画を策定する中で第2次の計画についてはこういう評価になっている、それをもとに第3次計画を今回このように策定しましたという感じで、次の計画の中で評価結果を盛り込む形で示したほうがよいのではないかということになった。ただ、生涯学習推進計画については、社会教育委員の会議で立案し、生涯学習推進検討委員会で最終的に決定するという流れがあるため、評価については、最低でも社会教育委員の会議の本会議、それから生涯学習推進検討委員会には報告したほうが良いと考えている。評価を個別に文書化して公表するのではなく、報告した内容を次の計画に盛り込むというのが小委員会でもまとめた結論である。

次に、現行計画の評価及び次期計画の策定スケジュールだが、まず第1回の小委員会を4月中旬に開き、団体への質問について協議する。そして4月の本会議で決定をする。5月の三者懇談会で話題に取り上げてもらい意見をもらう。先ほどの話だと同じ日の午前に社会教育委員の会議があるため、そこでも最終的な話ができるかと思っている。ここで団体へ意見を投げかけて、春から夏にかけて各団体から回答をもらい、秋ごろにその回答を集約しながら行政の評価を確認し、方向性を出す。11月の本会議でこの方向性について意見交換をし、1月の本会議で総括的な評価をまとめるというスケジュールとなっている。

次の資料はそれを表にしたもので、前回までにお配りしたスケジュール案を書きかえたものになっている。資料の説明は以上である。

(中村議長) ありがとうございます。小委員会で方向性を詰めさせていただいたわけだが、もちろんこれはあくまでも方向性であって、最終決定はこの本会議で決めるものである。評価の仕方について活発な議論をお願いしたい。議論に当たっては、この前の小委員会についてちらっと申し上げると、参加者全員からかなり活発な議論がなされたので、今回出席されている委員の方からも、最低1人1回はご発言いただきたいと思う。活発な議論をお願いしたい。小委員会で話し合われた内容であるが、評価については重いものであるということで、慎重かつ厳正に進めていかなければならないという意見があったので、そのあたりも踏まえてお願いしたい。あと、この資料には書かれていないが、ある委員さんからはこういったものについては直接市民に問うのも1つの方法だという意見も出た。ただ、それを実際やるとなると、意見としては非常にすばらしい意見だったが、実際にだれがどうやって集約してどう評価するか、また、多方面から要望的なものが出てくると収拾がつかなくなるという意見もあり、なかなかそれは難しいということになった。最終的に落ち着いた方向性としては、図書館協議会、公民館運営審議会、放課後子どもプラン運営委員会のほうから意見をもらうのが一番妥当ではないかということになった。また、各委員は所属団体に意見を聞き、それを持ち寄って協議するというということになった。現行計画の評価の仕方について、まずご意見があるか。各委員から活発なご発言をいただきたい。

(原嶋副議長) 小委員会の委員でありながら、スイッチがつくのが遅くて、そこでいろいろおしゃべりすればよかったと思うが、できるだけ市民の声を私は欲しい。となると、数は何が妥当なのか僕もわからないが、社会教育に関する団体に間口を広げてやったほうがいいのかと思った。わかりやすく言えば、この3つにこだわらなくても、もうちょっと幾つかの、文化団体とか子育ての関係とか、そういったところの意見の徴集も必要かと思った。そんなにたくさん集め過ぎるとだれが集計するのか宿題が出てしまうが、そんな感想を終わってから持った。大体僕は会議が終わると思ってしまう、会議中でないといけないのだが遅い。

(中村議長) 原嶋副議長からお話があったが、なるべく社会教育関連団体にも広げたほうがいいのかという意見である。1つの考え方として、図書館協議会、公運審、放課後子どもプラン運営委員会、それからあと各委員の出身母体、PTA、あるいは文化連盟、いろいろある。その出身母体にも広げてヒアリングをする。それももしかかもしれないが、そのあたり各委員からご意見を伺いたい。石田委員

(石田委員) 市として把握している社会教育関係団体があると思う。そういうのがあまり多くあるようでは困るが。

(中村議長) 今、登録団体はいくつあるのか。

(天野生涯学習課長) 110団体である。

(石田委員) 110ぐらいなら、回答を番号別にすれば何とか処理できるのではない

かという気もする。どうせアンケートをとるなら、そういう市民の団体から広くとったほうが、小金井市の意見としてのものが吸収できると思う。

(中村議長) 110団体にアンケートするというのは大変な作業か。事務局としてはいかがか。

(天野生涯学習課長) 一応、小委員会で出た話としては、数の問題と、あとはどこで線を引くのが難しい点があるため所属団体に限ろうかという話にはなっていたと思うが、その辺は小委員会が最終決定の場ではないので、皆さんでご協議いただければと思う。

(中村議長) 小委員会で話が出たのだが、例えばこの団体にだけ声をかけて私のところに何でかけてくれないかというのを防ぐためにも、各委員の出身母体だけにとどめる、プラス図書館協議会、公運審、放課後子どもプランぐらいにしてはどうかなという話ではあった。

(天野生涯学習課長) 小委員会での話としては、社会教育委員の会議の議長名で団体に依頼するのは三者の出向している団体、それ以外は各委員さんが自分で所属する団体から意見を聞いて、それを持ち寄って、要するに、その会の代表として意見を持っていくということが小委員会では出ていた。逆に所属団体に声をかけるのであれば、そこで線を引くわけにはいかないの、社会教育関係団体として登録されているところ全てに議長名で依頼をかけるのが筋かなと、事務局としては思っている。

(宗像委員) 理想は理想として、今の話の中ではそうであるが、できるのだろうか。質問項目は決まっているのか。

(中村議長) 大体の方向性は出ている。基本目標4項目についてである。

(宗像委員) 声を聞くというのは本当に理想ではあるが、実務的なことを考えると、アンケートをやると本当にいろいろなものが出てきて、それを集約してまとめる人としては、この意見を削っていいのか、採用していいのかということになり、なかなか時間がかかる。またここに上がってきてもそれを考えるということがあるので、僕は現行案でいいかなと思う。

(中村議長) 広げる必要はないと。

(宗像委員) はい。

(中村議長) この質問項目については、何かということであるが、この冊子の第1節、子供の健全育成と家庭教育の支援、第2節、自主的な学習活動への支援と交流の促進、第3節、多彩な学習活動と市民文化の創造、第4節、連携・協働による施策の推進、この4つについてこれまでの評価を問うものである。樹委員いかがか、この件について。

(樹委員) 何を問うかというところと、問われる人たちがどういう団体かというところがあると思う。公運審とか図書館協議会の方たちは私たちと一緒にさまざまな社会教育のことを話し合ってきているので、例えばこの基本目標がどう評価できるかと言われたときに、ご自分たちのいろいろな経験からいろいろなお話が出てくるかなとは

思うが、私は今、放課後子どもプラン運営委員会に行かせていただいているが、やはりそこは特殊な、本当に放課後の子供のことを考えているところでお話し合いをずっとしてきている委員会なので、それも社会教育の一貫ではあるが、それがこういう基本目標の中で自分たちはどういう役割を果たしていけるのかを考えるには、少し問い方を考えないと難しいかなと思う。また、自分が所属する団体にしても、自分たちが社会教育団体として登録されているという自覚は皆さんあるが、自分のやっていることが社会教育なのかという、そこの自分自身に対する評価というか自分たちの活動に対する評価も、それが本当に社会教育なのかというところで評価し切れていないとか、そういう部分があるので、この目標に対してどう思うのかを単純に問われると大変とまどうところかなと思う。

(中村議長) 樋口委員いかがか。

(樋口委員) 基本的なことだが、数的にはどのぐらいを吸い上げると大体市民の声を吸い上げたというようなことが言えるのか。

(中村議長) それは何とも難しい。ただ、数というよりも分野だと思う。この生涯学習推進計画がカバーしているところに関連する団体はやはり全て聞き取らないといけないと思う。そういう意味で1つの案としては社会教育関連団体の中でも図書館協議会、公運審、放課後子どもプラン運営委員会、それからあと皆さんの出身母体、そのあたりでほとんどはカバーできるのではないかとこの考え方でいいのではないかなとは思っている。

(樋口委員) わかった。数だけではなく、先ほど言われていたようにある程度質問を理解してくれることも必要だろうと思う。

(中村議長) そうである。質問された内容を理解していただける団体に配らないという意味がないという意見も出た。

(樋口委員) 皆さんの話を聞いて、やはり最初の案のとおり、私たちがそれぞれ属している団体に意見を聞くのと、あと三者合同で話し合いをしている、そういう団体に意見を聞けばいいのではないかと私は思う。

(天野生涯学習課長) 事務局で1点ちょっと確認したい。先ほどの樹委員のご意見で放課後子どもプラン運営委員会というのはどうかというのがあった。放課後子どもプラン運営委員会というのは、やはり樹委員がおっしゃるとおり図書館協議会、公民館運営審議会とは違い、放課後子ども教室について企画したり、計画策定したりという委員会で、また構成メンバーの半数は行政職員であり、確かにおっしゃるような違のかなと私も感じている。そういう意味では、議長名で団体へ聞くのは三者を構成している図書館協議会、公民館運営審議会に絞り、ほかは所属団体というほうがいいのではないかと思った。特に、樹委員の場合は団体推薦なので、放課後子どもプラン運営委員会に意見を聞いていただかなくても、Pステップのほうに聞いていただくほうがいいのかなと、今の話を聞いていて思った。

(中村議長) どこへアンケートを送るかということであるが、今、事務局からお話のあった放課後子どもプラン運営委員会をアンケートの対象にするかどうかということ

だが、ご意見はあるか。宗像委員はいかがか。

（宗像委員）言われてみれば確かに、そうだと思う。出て来られている委員のバックというものを考えると、前の2つの協議会、審議会とはメンバーが違うなと思うので、実際そこに同じような質問項目が持ち込まれた場合、困ってしまうと思うし、また、重複する方もいらっしゃるので、先ほどの案をちょっと修正して、異質かなということで外してもいいかなと思う。

（中村議長）ありがとう。P T Aの立場から樋口委員。放課後子どもプラン運営委員会をアンケートの対象とするかどうか。

（樋口委員）実は私は個人的に放課後子ども教室のほうに、学校区にある委員とかには入っているが、どちらかと言えばそれをお手伝いしたりとか、その運営をしたりとかいうかたちで、それを中心にされている方なので、言われたようにちょっと違うかなと思う。内容的には、私自身も学ばせていただいている立場であるが、いきなりではちょっと厳しいのかなとは思っている。

（中村議長）では、お二方の意見もそうだし、放課後子どもプラン運営委員会についてはアンケート対象にはしないという方向性でよろしいか。ご異議がなければそういう形で進めさせていただく。確認させていただくが、図書館協議会、公運審、それから各社会教育委員の方の出身母体までという範囲でアンケートを実施するということがよろしいか。ご異議がなければこれで。

（「異議なし」の声あり）

（中村議長）ありがとう。各委員の方につきましては、出身母体の所属団体に聞いていただいて持ち寄って協議することにさせていただく。これらアンケートの結果を市民の声として集約し、また行政が行う評価を確認して、総括的に評価することにさせていただく。

（原嶋副議長）ちょっといいか。今の結論でいいのだと思うが、この第1節から第4節に、基本的には各所属の団体さんはこの社会教育委員に入っているのか。

（西田生涯学習部長）網羅できているかという意味か。

（原嶋副議長）網羅しているかではなく、基本的に僕なんかはスポーツ関係で顔を出しているのだが、そうするとどこに入るのかなといったら第3節の多彩な学習、市民文化のほうではないし、連携・協働、せいぜい第4節なのかなということになるが。

（中村議長）それは各団体が関与している分野だけでいいのではないか。

（西田生涯学習部長）そのほかに特段意見があれば寄せてもらってもいい。

（天野生涯学習課長）要するに、社会教育委員の会議が団体に聞くという考え方ではなく、社会教育委員の方が自分でこの場で意見を発表するために所属する団体に意見を聞いてくるというスタンスで考えていただければいいのかなと思っている。あくまで社会教育委員の会議から団体へ聞くのは図書館協議会、公民館運営審議会に限る形でいいのかなと思っている。

（中村議長）各委員におかれては所属団体にこの冊子を持っていただいて、各団体で

該当するところについてご意見を聞いていただく、そういう感じでいいのかな。もちろんそのほかにご意見があれば、該当するところ以外でもご意見があれば承るというスタンスでいいのではないかと思う。そういう方向性でよろしいか。各出身母体をお持ちの委員の方、よろしいか。

(「異議なし」の声あり)

(中村議長) そして大事なところは、これまでの第2次小金井市生涯学習推進計画の評価の総括をしながら、同時に第3次の準備もするということである。第3次について、もし今まで第2次の評価を踏まえた上で第3次はこうあってほしいという意見があれば、それもやはり聞き取りたい、これも大事な点なので、そのあたりも触れるようにしてほしいということである。では、協議事項の2についてはこういう形でよろしいか。この件については終了ということよろしいか。

(「異議なし」の声あり)

### (3) その他

(中村議長) 続いて、協議事項3はその他。事務局のほうからいかがか。

(天野生涯学習課長) 特にない。

## 2 報告事項

### (1) 平成25年度第5回社会教育委員の会議小委員会の開催結果について

(協議事項の前に先行して報告済み)

### (2) 平成25年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第3回役員会・拡大役員会及び第4回役員会の会議要点録について

(中村議長) 報告事項2について事務局から願います。

(天野生涯学習課長) 平成25年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会の第3回役員会・拡大役員会、それから第4回役員会の会議要点録が当番市から送られてきたので、参考に提出したものである。こちらは参考にござんいただければと思うが、報告事項として第4回要点録の資料のうち、後ろから3枚目、平成26年度役員が示されている。こちらの3の会計監査をござんいただくと、小金井市が当たっている。4のブロック幹事、こちらはブロック会議のほうでも引き継ぎを受けているが、小金井市がブロック幹事ということで当たっている。この2点について報告させていただく。

それからもう1点、来週の木曜日、20日の日に第2回の理事会が予定されているが、そちらは議長、副議長の都合がつかないということで、私もこの日、別の会議があるので、生涯学習係長に代理で出席させる予定になっている。こちらについては後ほど、追って報告させていただきたいと思う。以上である。

(中村議長) 係長さんにくれぐれもよろしく願います。あと、今の関連で、秋に第5ブロックの研修会があるので、それに向けて社会教育委員としてどういう研修内容にす

るかをそれまでに準備しなければならないという宿題も課せられているということでご理解いただきたい。今期はやるのが通常の期よりも多いので、皆さんのご協力のほどよろしく願います。

(3) 第26回多摩郷土誌フェアの開催結果について

(中村議長) 続いて報告事項3をお願いします。

(天野生涯学習課長) 第26回多摩郷土誌フェアの開催結果についてである。こちらは、資料にあるとおり平成26年2月1日の土曜日と2日の日曜日の2日間で開催している。時間は、全体としては午前10時から夜の7時まで開催していたが、各市によって時間を変更して行ってよいことになっており、小金井市としては初日が5時まで、2日目が午後3時まで行った。場所は立川市女性総合センターアイム1階の健康サロンというところで行った。昨年までは立川のオリオン書房という書店を使っていたので、本屋さんに来た方にそのまま立ち寄りいただけることもあったが、今回からこちらと協賛ができなくなった関係で場所が移っている。そのようなことも影響したのか、昨年の3分の1ぐらいの販売量になっている。傾向として、いらっしゃる方が、多摩の歴史に興味を持って資料収集している方、あるいは他市の図書館の方が資料として購入したりということが多いため、小金井市の場合は今年新しいものがなかったこともあり、これはもう去年買ったからいいとかそういう形で、手には持つけれどもなかなか買っていただけないというようなこともあった。28冊、1万400円というちょっと少ない結果になっている。ただ、来年は今年度中に小金井市史の近代の資料編ができるため、こういった新しいものができるのと、比較的人気のあった桜絵巻というものが今は在庫切れで今回販売できなかったが、来年度増刷する予定なので、その辺がいい方向に影響してくれるといいなと考えている。以上である。

(4) 第10回野川駅伝の開催結果について

(中村議長) 続いて報告事項4をお願いします。

(天野生涯学習課長) 第10回野川駅伝の開催結果である。平成26年1月19日の日曜日、午前8時半から午後2時まで、都立武蔵野公園と野川第2調節池をメイン会場として行っている。主催は小金井市、小金井市教育委員会、NPO法人黄金井倶楽部ということで、総合型地域スポーツクラブのNPO法人黄金井倶楽部に委託した形で実施している。対象は市内在住・在勤・在学の小学生、それと一般の方ということで、小学校、中学校というのは多くは少年野球やサッカーのチーム、あるいは中学生だと学校の部活単位での参加がされていた。こちらについては今まで表彰式で全てのタイムを報告することができなかったが、回を重ねるごとに効率的に行う工夫をしていただき、今回、それが表彰式でできたのがよかった点だと思っている。以上である。

(5) 貫井北センターの愛称の選考結果について

(中村議長) 続いて報告事項5をお願いします。

(大関公民館長) 貫井北センターの愛称の選考結果についてご報告させていただく。この愛称の募集のきっかけは、平成22年度から設置した(仮称)貫井北町地域センター建設市民検討委員会の委員から、愛称を公募してほしい旨のご要望があったことから、平成25年7月1日号の市報及びホームページで募集を行ったところ、資料の裏面にあるとおり30件のご応募をいただいた。愛称の選考に当たっては、第1次選考を市民検討委員会委員に、第2次選考を図書館協議会委員及び公民館運営審議会委員に行っていただき、最終選考を庁内検討委員会にて行ったところである。そして、最終選考において、裏面を見てもらうと最終選考の「きたセン」を選考したところではあるが、委員の中からイメージ的にちょっとわかりにくいという意見があったことから、最終的にわかりやすくするために一部加筆し、「きた」はひらがなで「きたまち」、カタカナで「センター」に一応決定させていただいた。なお、「きたセン」の応募者本人にはこの旨は了解済みであることを報告させていただく。以上である。

(中村議長) ありがとう。ご意見がなければ、最後にその他あればお願いします。

#### (6) その他

##### ア 市議会定例会について

(西田生涯学習部長) その他、議会報告ということで、平成24年第4回定例会の報告を生涯学習部の関係においてさせていただく。第4回定例会については、11月29日から12月18日まで開催された。大きく分けて3点ある。

1点目が一般質問で、生涯学習部関係では計4人から大きく6項目の質問があった。内訳だが、2020年東京オリンピックが決定したということで、その開催に関するスポーツ振興関係について2件、内容は文化、教育に向けた取り組みにもオリンピックを関連させろということで、その政策ビジョンに関する事、それからもう1つが健康づくりに関するスポーツ振興関係ということで1件で、具体的なオリンピックに向けての取り組みや今後の考え方に関する事ということで聞かれている。これについては、まだ2020年が決まったばかりで国や東京都から具体的にこうする、ああするという方向性が示されていないため、今後の検討課題であると回答している。

次に、玉川上水人道橋に関する事が1件あった。こちらについては橋の形状に関する事を聞かれており、日本でも希少なものだが、フィーレンデール橋という形で、あれはお茶の水だったか。

(天野生涯学習課長) 新宿駅南口にかかっている。両脇がはしご状になっているもので、新宿の例は完全なフィーレンデールとは言わないみたいだが、それが近い形である。あとは中央区の区民文化財に指定されている豊海橋というのがあり、それがフィーレンデール橋としては代表的なもので、日本でも数少ないものになっている。

(西田生涯学習部長) 有識者の方に検討していただいた結果、そういったものになったという報告をさせていただいた。

それから、図書館関係が1件。市内の大学との連携に関することを聞かれている。これに関しても、実際に今、相互利用というか、例えば市内ではないが、東京経済大学とはカードを貸してもらい貸し出しを受けられる制度を持っていたり、今後も市内の大学とは連携を深めていきたいという答弁をしている。

それから、図書館及び公民館の関係が合わせて1件あり、中高生の居場所づくりに関することで質問をいただいた。今度でき上がる先ほどのきたまちセンターの中に若者のコーナーを、図書館も公民館も意識してそういったものをつくっているということで答弁させていただいた。

それから、2番目の大きなものとして、厚生文教委員会の関係で、12月9日に開催されている。生涯学習部関連は、一昨年の2月21日だったか23日か、史跡の空林荘が燃えてしまった。その再建の陳情書が趣旨採択されており、12月18日の本会議においても趣旨採択された。趣旨採択とはどういうことかということ、読んで字のごとく、そのまま採択するのではなく、言われたとおりに採択するのではなく、その陳情書に書いてある趣旨についてそれはごもっともだということで採択されたということである。実際に建てかえるかどうかの方向性についてはまだ市としては決まっていない状況の中で、再建をしてほしいという陳情については趣旨はわかったということで採択をされたのご理解いただければと思う。

それから、議会に議案として提出したものだが、先ほど来話になっている市内4番目の地域センターである4月開館の貫井北センターに図書館の分室及び公民館の北分館を新たに設置することに伴い、その部分を追加し規定を整備する必要があるため、小金井市立図書館設置条例の一部を改正する条例及び小金井市公民館条例の一部を改正する条例が審査の上、可決され、これについても12月18日の本会議において可決されたため、もう条例上は貫井北町に公民館と図書館の分館、分室ができるということの改定がされている。ちなみに申し上げますと、1月31日に一応貫井北町センターは竣工いたしたことでございまして、今、ちょうど検査をしている最中、引き渡しを来週早々受けるため、今、建築関係の検査をしている状況で、建物はでき上がっている状況である。

そのほか、社会教育委員の選出方法について条例を改正する必要があるため条例改正をした。

(天野生涯学習課長) 選出方法そのものに影響はない。これは前回の会議でも報告したが、これまで社会教育法に選出の基準をうたっていたが、条例でうたいなさいという改正がされている。ただ、その基準については文部科学省令を参酌することとなっており、省令で示された基準は今まで法にうたっていたものと全く同じ内容なので、実質的な変更はないような改正になっている。

(西田生涯学習部長) ただ、形式的に整えないといけないということで、その条例改正を提案し、それについても可決されている。

その他、玉川上水人道橋架設についての行政報告を行っている。これは先ほど申しまし

たフィーレンデール橋をつくるに当たり、本来であれば今年度中に今ある横断歩道橋が老朽化しているが、そちら今年度中に取り壊す予定でいたが、諸般の事情によって今年度間に合わず来年度ということになり、そういうご報告をさせていただいた。

それから、3番目の大きなものとして、平成25年度の補正予算があった。第5回の一般会計の補正予算が可決されたが、生涯学習部関係の主なものとしたしては、公民館費として市民の図書館・公民館こがねい運営費等補助金、運営初期費用ということで、335万4,000円が可決されている。目的は4月から事業運営の委託を行政決定している市民協働・公民連携のもとに設立した任意団体で法人申請中だった市民の図書館・公民館こがねいに対して、1月から3月までの間、4月開設に向けた諸準備等、運営費等に関する経費を補助することによって、4月1日を予定している運営開始の準備体制を整えて、当初から安定した質の高いサービスの提供に寄与するというので、その団体に対して補助を行っている。ちなみに、この団体に関しては2月3日付をもってめでたくというか、NPO法人ということで東京都から認証を受けたものである。以上である。

#### イ 放課後子どもプラン運営委員会について

(樹委員) 1月23日に第5回放課後子どもプラン運営委員会が開催された。各校のコーディネーターさんからは、大体7割から8割ぐらい実施している感じであり、年間の計画どおり実行しているというお話があった。また来年度の計画案が今出てきているところだが、回数と、安全管理委員という見守りの方たちの数の適正について、実行委員会という放課後子ども教室を運営していくための委員会のほうで検討していくというお話があった。次回、来週だが2月21日、第2小学校の放課後子ども教室の様子を見学に行かせていただくことになっている。以上である。

#### ウ 図書館協議会について

(石田委員) 本日、午後開催される。

(中村議長) では、次回の本会議で報告をお願いします。

他に各委員、あるいは事務局の方から報告事項はないか。なければこちらで閉めてよろしいか。お疲れ様。ありがとう。

以上